

# 介護保険下における車いすレンタル化の現状とソリューション

永野 剛志

[川村義肢 株式会社]

---

平成12年4月に介護保険が導入され、車いすは給付からレンタルへと利用体系が大きく変化した。この事により車いすを個々の利用者へ適合させる事への不具合が生じている要因として、元々既製の車いすは個々の症例に対して必要最小限の機能しか備えていないため適合力が低い、低価格競争による質の低下、ならびに車いす選定者の知識不足などが考えられる。

われわれは、義肢装具の提供を通じ利用者への適合がもっとも重要な課題と考えている。

そこでレンタル車いすの個々への適合性向上を行う上でモジュール車いすが有効と考え、平成14年1月より研究を重ねてきた。モジュール車いすは、車いすの中で、オーダーメイド車いすを除き最も適合性が高いとされている。しかし利用者や介助者にとって取り扱い方法が複雑でわかりにくく、しかも重いということから、広く普及するに至っていない状況である。

この状況をふまえ、介護保険下のレンタル用車いすとしても扱え、多機能でありながらシンプルでかつ軽量で適合性の高いモジュール車いすを開発したので、特徴や車いすに対する利用者の評価を交え報告する。